

保健福祉企画総務課長 様

消防企画総務課長

堀川 直彦

岡山市くらしやすい福祉のまちづくり設計支援委員の
意見等について（報告）

下記施設整備事業について、令和4年10月27日岡山市くらしやすい福祉のまちづくり設計支援委員（以下「委員」という。）に意見を聴いた結果を報告します。

記

事業名 (整備概要)	岡山市消防水難救助訓練施設整備事業	
委員からの意見	委員の意見に対する回答	
<p>【外周り】</p> <ul style="list-style-type: none">・主要道路から、水難施設（以降施設）までかなり離れているように感じるが、点字ブロックの敷設は考えているか。 また、敷設しない場合のサポートは。・建物の外にある階段にも案内の階段と同じように警告ブロックと手すりの点字表示をお願いしたい。（全く使用しないのなら必要ないが、非常時に使用する可能性があれば表示して欲しい。）・車いす用駐車場と、自転車置き場との距離が近いが、それぞれの利用者と動線が重ならないか。	<ul style="list-style-type: none">・他の来場者の車両の通過、緊急車両の出入もあることから、事故防止の観点であえて点字ブロックの敷設は考えていません。 サポートについては、南消防署既存の点字ブロックをご利用いただき、消防署受付職員へお声かけいただければ施設職員が案内させていただきます。・通常は消防職団員のみが使用するものですが、表示する方向で検討します。・施設利用者の駐車場は施設西側に車いすマーク2台、普通車用17台を設置します。自転車置き場は南消防署既存を想定しているため、問題ないと考えています。	

<ul style="list-style-type: none"> ・市民が施設利用の際、プールへ転落するなど危険性についてどのように認識しているか。 ・敷地内の出入口が一カ所であるが、一般車両と緊急車両が交錯しないように対策を講じているか。 ・駐車スペース東のグレーチングは幅が狭い物になるか。 ・施設利用の際は、係の職員が対応してくれるのか。 ・施設入口に車両を横付けして乗降は可能か。 ・幼稚園児、特別支援学校の子供たちが施設を利用することを想定しているなら、文字による注意喚起は伝わらない。ユニバーサルデザインを活用した視覚で理解できる物を掲示していただきたい。 ・駐車場の車いすマークから施設までは段差なく移動できるか。 ・敷地の進入の際、緊急車両が出動することが想定されるが一般車両との交錯は問題ないか。 <p>【トイレ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多目的トイレについて、ベビーシートを使用後たたまない人がいると、車いすが中に入れない。 ・トイレ周囲にトイレの案内板を設置してほしい。案内板の前には警告ブロックを2枚引いていただくと助かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご懸念のとおり、当施設は水を扱う危険な施設である。事故が無いよう、利用は事前計画された訓練、事前申請者に限り、通常は立入を制限して事故を防止します。 ・敷地アスファルト上に白線で分けをし、水難施設利用車両と緊急車両の動線をはっきり分けしています。 また、施設利用日時については南署員と情報共有し注意喚起を行います。 ・お見込みのとおりです。 ・一般の方は予約制になるため、施設職員が随行対応します。 ・可能です。 ・内容を検討し、取り入れます。 ・段差なく移動できます。 ・職員が緊急車両の誘導を行うとともに、施設利用者に、危険性について予約時に事前周知します。 ・施設職員にお声がけいただきたい。 ・検討します。
---	---

<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ案内板を付けるのであれば触知図にしてほしい。 ・男女トイレにもベビーチェアを設置できないか。 ・2階部分の男女用トイレが更衣室付近しかなく、市民講習室付近には多目的トイレしかない。男女用トイレを追加できないか。 ・多目的トイレだが、車いす回転半径が1500mmで検討されている。1800mmとすることはできないか。そうすれば、スペースの余裕もでき、跳ね上げの問題も解決できる。 ・男女トイレのピクトグラムはわかりやすいデザインにしてもらいたい。 ・幼児用の補助便座を採用しては。 ・多目的トイレ内のベビーチェアとオストメイトの距離が近く、ベビーチェアに座った子どもがいたずらをするのでは。 ・多目的トイレの鍵の形状は。 ・多目的トイレの戸は止まるものですか。 ・オストメイト設備はパックになっているとすることで、付いているとは思いますが、靴脱ぎ場はありますか。 ・1階、2階の多目的トイレはどちらもベビーシートとなっているが、いずれか一つは大人用のユニバーサルシートになりませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・検討します。 ・各担当と検討します。 ・利用想定を1時間程度、最大30名程度としており、施設規模からも多めに設置しています。また、男女用トイレを更衣室付近に設置しているのは、プール講習をメインに考えているためです。必要に応じて1階のトイレを使用させていただくことで対応します。 ・施設全体のレイアウトもあり、様々な面を含めて検討します。 ・JIS規格を採用し、わかりやすいデザインを採用します。 ・担当課と協議検討します。 ・メーカーの既製品を採用する予定だが、懸念について検討します。 ・大型のレバーで使いやすいようにしています。 ・開ききったらロック、少し閉めたら自動で閉まります。 ・あります。 ・検討します。
---	---

<ul style="list-style-type: none"> ・オストメイト付近にフックはありますか。 ・フックはオストメイトのそばで、高い位置、低い位置の2か所をお願いします。 ・オストメイトはお湯が出ますか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・壁面に取り付けます。 ・承知しました。 ・出ます。
<p>【その他全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・玄関から事務室カウンターまで敷設された点字ブロックの枚数が多いのでは。 ・2階フロア、スロープ上の面と下の面に点字ブロックを敷設していただいているが、距離も短いので、無くても良いのでは。 ・2階スロープの境の色を変えることは可能でしょうか。 ・2階のスロープ付近にあるグレーチングは目の細かい物で、滑りにくい物でしょうか。 ・受付のカウンターの高さは車いす対応でしょうか。 ・市民体験施設に興味があり、できれば実施してみたい。衣類が濡れる事を想定して、更衣室は車いす対応でしょうか。 ・3階の見学スペースは車いすの方は見学可能か。 ・3階見学スペースに手すりがあるが、車いすの方が見学する際、邪魔にならないか。 ・2階の更衣室からプールに出る時は濡れていないが、講習終了後、更衣室に戻るとき床は滑らないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県条例とは異なりますが、国際交通安全学会のガイドブックを元に改善案とします。 ・承知しました。 ・色の変更について検討します。 ・細目で表面がザラザラしている滑りにくい物となります。 ・現在1000mmで考えています。書類の記入等は想定しておらず、会話程度となるため問題ないと考えています。 ・安全確保が大前提のため、車いすの方にどこまで体験していただけるか未定です。現状の設計では、円滑には入室はできません。 ・段差部分は、簡易スロープ、若しくは職員による持ち上げで対応し、見学していただけます。 ・ステンレス製の手すりを設置し、隙間から見学可能です。 ・プールサイドは防滑にしており、更衣室の床、トイレまでの動線も同じ防滑仕様としています。

<ul style="list-style-type: none"> ・プールの深さが3 m、市民が体験する部分は2 mとのことだが、深い部分と浅い部分の境を区分けしてはどうか。 ・エレベーターが3階で停止した場合、車いすの方がどのように施設外へ避難するのか。 ・2階のスロープの勾配はどのくらいか。また出入口の段差等、±0で検討して欲しい。 ・施設が火事の時、避難口は玄関だけか。 ・聴覚障害者への緊急時対応は。 ・ピクトグラムは誘導方法であって、知らせる方法ではないと思うが。 ・敷地出入口に緊急車両の出動がわかるランプ等は設置されているか。 ・エレベーター利用時、緊急事態が発生した際、エレベーター内にモニターが設置されていれば、聴覚障害者でもモニター越しで外部とやりとりできるため安心感がある。また最寄り階で停止するのか。 ・1階ホール案内板の高さ等、仕様は。 ・2階で何かあった時、車いすの方の避難は可能か。 ・来場者だけでなく、施設職員が車いす状態となる事も考えて事務所等の設計をして欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロープ等による区分け、職員により対応するなどして区分けします。 ・緊急時は施設職員により対応するとともに、隣接の南消防署員による救助活動を行います。 ・2階スロープの勾配は850で70下がりです。出入口の段差は扉の仕様で70。その他はフラットとしています。 ・基本的には玄関だけとなります。そのため、有効幅を1500としています。1階廊下から右に向かって職員用ですが出入口があり、屋外はスロープとしているため。緊急時は使用可能です。 ・災害対応ピクトグラムを有効活用する。 ・光などで知らせる設備は設けていません。職員の対応マニュアルを作成し対応します。 ・南消防署既存の出動灯が設置されています。 ・モニターは設置していませんが、会話ができない方への対応は検討します。非常時は最寄り階で停止します。 ・点字付きで、高さは1000 mm～1200 mmで検討しています。 ・運用面で施設職員が対応するので可能です。 ・あらゆる事を想定して検討していきます。
---	---

・人的対応していくとの発言が多くあったが、皆さんは消防のプロだが、介護のプロではない。いざという時対応が本当にできるのか不安である。運用開始までに、専門家の下でしっかり学んで備えて欲しい。

・可能な範囲で対応していきます。